

まず
本、あり❑。

-?を！に変える本との出会いを見つけるマガジン-
///Vol.33///

今、家事を考える
～協力し合う家事シェア～



❄️ 家事における男女格差

女性が子どもをもっても働きつづけるようになり、共働き世帯は増えていますが、家事・育児は女性が多くを担っており、性別役割分業は解消されていません。

Q. 男性と女性で、家事時間にどのくらい差があるの？

A. 総務省の調査によると、6歳未満の子をもつ夫妻の家事時間は、2021年は男性が2時間9分、女性が7時間47分となっており、男女間で5時間38分もの差があります。



❄️ 6歳未満の子どもをもつ夫・妻の無償労働時間(家事・育児)、週全体、夫婦と子どもの世帯

	夫			妻			2021年 性差
	2016年	2021年	増減	2016年	2021年	増減	
無償労働	1.35	2.09	0.34	8.00	7.47	-0.13	-5.38

※出典: 総務省統計局『令和3年度 社会生活基本調査』詳細行動分類による生活時間に関する結果 概要 p.6
<https://www.stat.go.jp/data/shakai/2021/pdf/gaiyoub.pdf>

また、共働き世帯と片働き世帯の有償労働時間と家事時間を比較しても、妻の家事時間の平均は3時間を超えていることがわかります。

❄️ 共働きか否かの労働時間、家事時間の平均(週全体)

	共働き		夫が有業で妻が無業	
	妻	夫	妻	夫
有償労働時間 (分)	280	457	4	418
家事時間 (分)	195	34	271	32

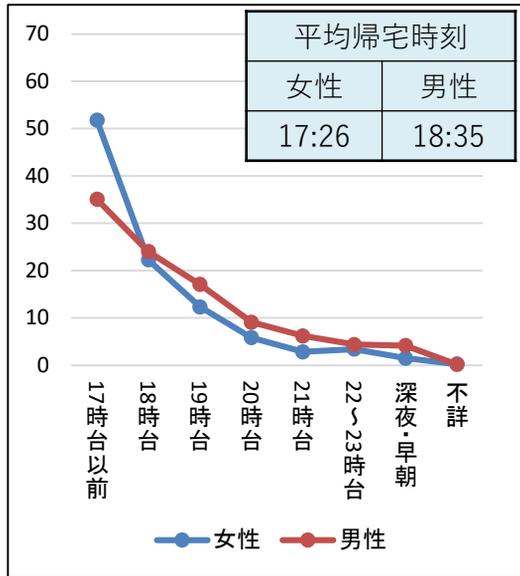
※出典: 総務省統計局『令和3年度 社会生活基本調査』詳細行動分類による生活時間に関する結果

共働き世帯であってもなくても、家事は女性に偏っていることがわかるね。

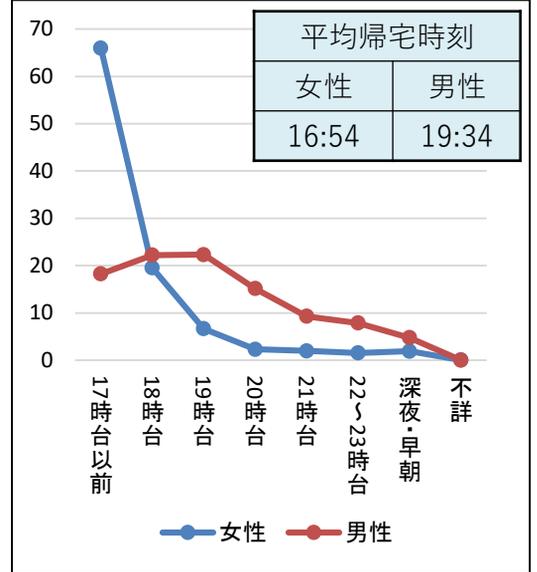


❄️ ライフステージ別 仕事からの帰宅時間

子どものいない夫婦



子育て期の夫婦



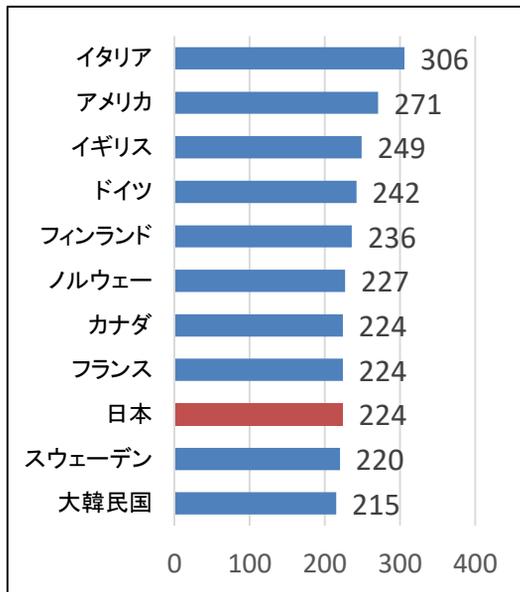
※出典：内閣府男女共同参画局『令和5年版 男女共同参画白書』p.38
https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r05/zentai/html/zuhyo/zuhyo00-25.html



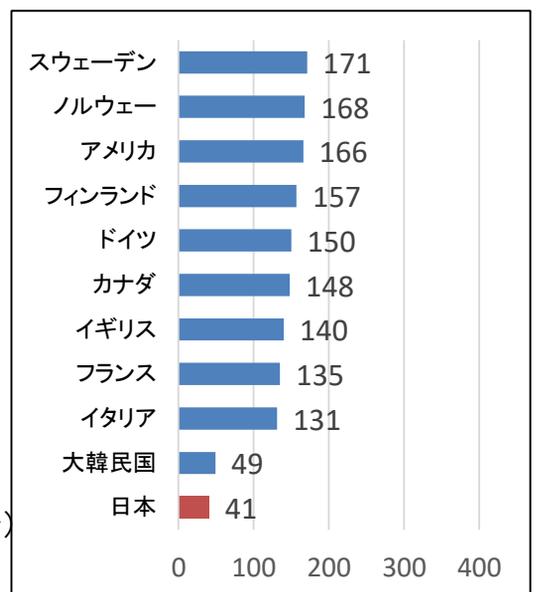
子育て期の男性が、子どものいない夫婦の男性より帰宅時刻が遅いなんて、びっくりだね。

❄️ 無償労働の国際比較(性別)

女性



男性



(単位:分)

※出典：内閣府男女共同参画局『令和5年版 男女共同参画白書』p.17
https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r05/zentai/html/zuhyo/zuhyoc01-03.html

他の国と比べても、日本の男性の無償労働の時間は短いね。

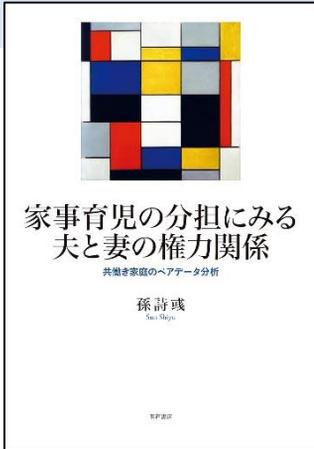




家事とジェンダーについて知る・考えるには、どんな本を読めばいいのかな。

『家事育児の分担にみる夫と妻の権力関係』

孫詩彥著 明石書店 2022



子どもが生まれる前・生まれた後の夫妻間の役割分担の交渉・調整のプロセスについて、中国と日本の共働きのカップル20組にインタビュー調査を行い、分析・考察しています。子どもが生まれると夫妻の交渉が硬直化し、不平等な形に固定化していくことにはジェンダー規範の影響があり、それが役割分担を規定する力になっていることを指摘しています。この課題に対して、著者は、「変革を起こさなければいけない」と述べています。

『働く母親と階層化：仕事・家庭教育・食事をめぐるジレンマ』

額賀美紗子、藤田結子著 勁草書房 2022



夫婦の協働はジェンダー秩序に常にさらされており、夫婦が平等に家事・育児をしようとしても実際には女性に偏っている状況を、インタビュー調査から考察しています。

仕事と家事・育児の不平等の是正に向けて、①共育て・共育ち、②質の高い保育、③就業継続できる労働政策と労働環境、④ジェンダー平等教育、⑤食事の外部化・社会化を推進していくことが必要であると説いています。

『家事は大変って気づきましたか？』

阿古真理著 亜紀書房 2022



明治から令和までの家事に対する人々の意識の変化を、膨大な資料やデータを使って導き出しています。家事が女性の役割となった背景には、資本主義や経済の影響がありました。著者は、男女の役割分担からの脱出を提唱。家事を家族でシェアし、家事代行も依頼できるように社会を変えなければならないと訴えています。



家事の負担を減らす方法を
考えてみよう。

『家事の呪縛をとくノート:暮らしをもっとラクにする!』
心地よい暮らし研究会監修; 石川理恵編 主婦の友社 2021



「洗濯物はたたんでしまう」「料理は手作りで」「自分がやった方が早い」など、家事に対する理想や固定観念、責任感でがんじがらめになり、日々の暮らしにへトへトになってしまった人が、「自分は何に縛られているのか?」と気づくための本です。普段の家事を可視化し、客観的に見直すためのワークシートも掲載されています。

『やってもやっても終わらない名もなき家事に
名前をつけたらその多さに驚いた。』
梅田悟司著 サンマーク出版 2019



家事とは料理・洗濯・掃除・買い物だけだと思っていた著者。育児休業を取得すると、家の中には名もなき家事が山のようにあることに気づきました。名もなき家事の「見える化」を実現し、分担を促すために、名前をつけた家事は70個。巻末には家事分担シートとしても使えるチェックリストが掲載されています。

『暮らしが変わる時短家事:家事、育児、仕事でボロボロだった私が
20時以降を自分時間にするまで』
かおり著 KADOKAWA 2021



育休明け、家事も育児も仕事も完璧にこなそうとしてボロボロになってしまった著者。家事のやり方を根本的に変えようと、「お手本のような家事をやらなくてもいい」をモットーに暮らし改革を開始。20時以降は家事をしないように日々の家事を工夫しました。母親が一人でがんばるのではなく、夫や子どもの協力で負担がぐっと減ることも書かれています。

家事をシェアしている人たちの生活を見てみよう。



※「シェア」とは「分担する」「共有する」という意味です。



『わが家の家事シェア』(暮らしの手帖別冊) 暮らしの手帖社 2019

家事を分担し、支え合って生活している家庭を取材・紹介しています。

家事をシェアしている著名人へのインタビューや寄稿ほか、784名の読者が回答した家事シェアに関する意識調査アンケートの結果も掲載。アンケートの最後には、「女性に偏っている家事負担・育児負担について、社会全体として、どんな取り組みが必要だと思いますか？」といった設問と回答もあります。

『どんどん仲良くなる夫婦は、家事をうまく分担している。』 水谷さるころ著 幻冬舎 2019



「フェアな夫婦関係をめざす」妻と、「夫も家事育児をして妻にも働いてほしい」夫の事実婚夫婦＋子ども1人の3人家族。夫婦共働きのため家事と育児を分担しながら生活しています。困ったことは常に話し合いと協力で解決していく2人は、結婚当初よりも信頼関係が深まってケンカが減り、仲良くなっているようです。家事シェアだけではなく、夫婦関係のアップデートのヒントにもなる本です。

『家事シェアのすすめ:もっとおうちをハッピーに』 Smile Sharing Book vol.2

札幌市市民文化局男女共同参画室男女共同参画課 2019



家事シェアが必要な理由、見えない家事の攻略、家族のコミュニケーション方法、3世帯の家事シェア事情まで、家事シェアについてわかりやすく解説された冊子です。シェア率を見える化するための家事シェアチェックリストつき。

札幌市のWebサイトでPDFも公開されています。

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/danjo/ssb.html>

女性・ジェンダー関連情報を調べるのに最適!



国立女性教育会館 文献情報データベース

https://winet2.nwec.go.jp/bunken/opac_search/



文献情報データベースでできること

- ①女性教育情報センターの豊富な所蔵資料が検索できます
図書・地方行政資料15万冊、雑誌4,200タイトル、
新聞記事58万件、和雑誌記事7万6千件
- ②資料には、登録時に関連キーワードが付与されているため、
幅広い、効率的な検索ができます

新着資料アラートサービス

<https://www.nwec.go.jp/database/new.html>



関心のある「キーワード」や「著者」などをあらかじめ登録すると、
その条件にあった女性教育情報センターの新着資料をEメールでお知らせ!

図書の貸出、文献複写サービス



お近くの図書館や男女共同参画センター等を通じて、図書を貸出
しています。(送料はご負担いただきます)
埼玉県内在住・通学・通勤の方は、埼玉県内公共図書館を通じて図書を
送料無料で貸出できます。



文献複写Web申込サービスを利用申請いただくと、インターネットで
お申込、ご自宅へ資料をお届けします(有料:白黒1枚35円、カラー
1枚80円+送料)。

❄️ 家事シェアに関するWebサイト

家事シェアについて、各地で公開されているWebサイトだよ。参考にしてみよう。



- 石川県『ハッピー家事シェア！』

<https://www.pref.ishikawa.jp/kaji/share/>

夫も妻も家事・育児を楽しみながら、家族みんながハッピーになれる家事シェアライフのヒントが掲載されています。

- 兵庫県『とも家事』

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk17/tomokaji/kajisheasito.html>

家族で家事を分担し、ともに豊かな人生を歩むための取り組みについて紹介されています。

- NPO法人tadaima! | 帰りたくなる、わが家にしよう。

<https://npotadaima.com/>

「ただいま！」と帰りたくなる家をめざして、家族の家事シェアと部屋づくりをサポートする事業を行っています。



今、家事を考える ～協力し合う家事シェア～

女性教育情報センターテーマ展示（1～3月）



<https://www.nwec.go.jp/event/center/kajishare.html>

❄️ 編集・発行: 独立行政法人国立女性教育会館 情報課

〒355-0292

埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

TEL:0493-62-6195

URL:<https://www.nwec.go.jp/facility/center.html>



❄️ 発行: 2024年1月